

52nd FRP CON - EX2007 講演会 in AKIHABARA

講演・参考展示募集

(第52回 FRP総合講演会・参考展示会 秋葉原開催)

本年52回目を迎える当協会のFRP CON - EX (講演会・参考展示会)は東京・秋葉原で開催します。

世界の若者があこがれるポップ文化の本拠地 東京・秋葉原。新しい日本文化の世界への浸透は本年三月英国放送協会(BBC)より発表された国際世論調査結果『日本の好感度はカナダと並んで二年連続の第一位...』にも大きく貢献していると言われています。また『日本発のポップ文化は世界を席卷。影響はエンターテインメント産業のみならず日本経済を大きく成長させる。』とその実態と未来を詳細に分析する、ユニークな経済書も出版されるほどです。趣都市、萌える都市とも言われるようになった秋葉原を中心とした関連産業の拡がり、これまで国内市場の拡大を前提に成長戦略を描き、ここ数年の大きな環境変化と新しい再編の波への早急な対応を迫られているFRP産業界にとって大きな刺激となることは間違いありません。どうかこの機会をお見逃し無くご応募下さいませ、ここにご案内申し上げる次第です。

今回のFRP CON - EXは昨年同様、参考展示付の講演会として企画いたします。講演発表内容に関する参考展示はもとより参考展示のみのご参加も募集しております。

つきましては、一般講演・参考展示について裏面の申し込み要項に従い、会員各位をはじめ大勢の皆様からのご応募を心よりお待ちしております。因みに講演内容はFRPに関する技術的なものから、経営・市場など、もしくはユーザーを啓蒙する教育的なものなど、幅広い内容をと考えています。この機会により多くの情報がいろいろな分野から発表されることを希望しています。

尚、本会は特許法に基づく学術団体の指定を受けており、発表の日から6ヶ月以内については発表者の工業所有権の優先権が保護され、特許出願ができるようになっております。従いまして従来にも増してオリジナリティのある講演を期待しています。

また、この度の講演会で発表される論文及び報告のうち独創的で学術上及び技術上価値があり、将来性・発展性があると思われるものに論文賞が授与されます。新しい規定が適用され今回が二回目となります。論文賞の受賞者は第一著者が40歳未満の場合で、申請があった業績のみが選考の対象になり第一著者のみに授与することになりました。講演部門のハイライトでもあるこの《論文賞》にも奮ってご応募下さい。

主催 社団法人 強化プラスチック協会
協賛 関連学・協会
会期 平成19年11月15日(木)~16日(金)
会場 秋葉原コンベンションホール TEL:03-5297-0230

<http://www.akibahall.jp/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 2階

開催記念懇親会

平成19年11月15日(木) 夕刻より

会場 秋葉原コンベンションホール
(JR 秋葉原駅 電気街口 徒歩1分)

講演部門

協会活動報告	(委員会報告、部会報告、その他)
経営	(FRP産業経営のあり方、今後の方向等についての提言および考察)
開発	(市場開発等についての事例、提言および考察)
環境	(公害、労働安全衛生、廃棄物処理・リサイクル等)
原材料	(FRP工業に関係ある原料、成形材料、その他)
構造	(設計、試験法、成型品の性質、その他)
成形加工法	(成形法、加工法、接着法、塗装法、修理法、成形機械、加工機械、成型型、その他)
品質管理	(QC、TQC、FA、その他)
応用	(建設資材、住宅機材、舟艇船舶、自動車車両、タンク容器、工業機材、雑貨、その他に対する応用例または応用についての考察)
製品紹介	(自社製品についての紹介、外国製品についての紹介、考察、その他)
調査	(上記部門における市場調査、分析、将来性)
その他	

講演・参考展示申込要項

応募資格	原則として会員に限ります。(官公庁、大学等の中立機関はこの限りではありません)
費用	講演発表一件につき 18,000 円(内訳 6,000 円・・・要旨集代、2,000 円・・・入場料:会期二日間有効、10,000 円・・・協賛金) ただし、以下の場合は協賛金が不要です。 中立機関(学・官等、公的試験・研究機関等)による発表、[業界側との共同研究の場合も含む]また学生による発表の場合は一切無料(入場券、要旨集代、協賛金不要) 参考展示のみの参加 10,000 円(入場料 2,000 円/枚.....5 枚分)
講演・参考展示申込	規程の申込書(両面あるので充分ご注意ください)の所定欄にそれぞれ記入の上、お申込み下さい。尚、講演題目、発表者(連名者を含む)所属は和、英両文でご記入下さい。また、申込ご発表の中より、優れた講演には論文賞を授与します。この「論文賞」には中立機関はもちろん産業界からの発表にも期待しておりますので、奮って御応募下さい。なお、論文審査は講演要旨で行います。
申込講演の採否等	プログラム編成の際参考資料にしますので申込書の裏面に講演概要を 100 字以内でご記入下さい。また、発表内容に関する参考展示(無料)ご希望の有無をお聞かせ下さい。
講演要旨	お申込講演の採否、講演部門の変更、講演日時の割当、講演時間等一切の調整はすべて実行委員会に一任願います。 講演要旨のご執筆は、原則としてワープロ打ちとします。 A 4 縦、白紙に 2 段横書で打出して下さい。 執筆枚数は 2 枚、但し、論文賞応募者は 3 枚以内とします。 講演題目、発表者(連名者含む)は、所属は和英両文でご記入下さい。また英文アブストラクトは、50 語以内でお願いします。他執筆様式詳細は、お申込み後に見本紙を送付しますのでご参照下さい。
講演内容	既発表でも差し支えありません。製品化の成功談や失敗談、FRP 企業経営上の経験談など、どんな些細な問題でも参加者に示唆を与えるものなら歓迎します。 また、講演としての形式にこだわらず、“発表”“報告”というような軽くお話しただけのものでも結構です。
講演時間	15 分程度を基本に設定させて頂く予定ですが、具体的には実行委員会にお任せ下さい。
講演部門	申込書に必ず上記講演の希望部門を記入して下さい。
講演申込締切	平成 19 年 7 月 31 日(火)(締切日厳守)
講演要旨締切	論文賞応募者 平成 19 年 9 月 10 日(月)(締切日厳守) 上記応募者以外 平成 19 年 10 月 29 日(月)(")
講演申込先	〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 - 2 - 8 日誠ビル 3 階
要旨送付先	電話 03(5812)3370(代) Eメール hdqtr@jrps.or.jp